

SAPPORO

札幌市IR資料

令和元年度版



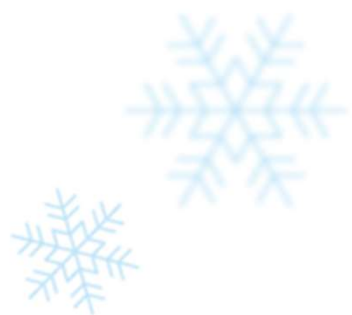
目次

1 札幌市の概要・主要施策

札幌市のプロフィール	1	夢・誇り・感動を ～2030年冬季オリンピック・パラリンピック招致～	6
札幌市の人口	2		
まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015	3	北海道新幹線 ～国内外からのアクセスの向上～	7
公共施設マネジメントの取組	4	変わりゆく街並み	8
札幌の魅力発信 ～来客数1,800万人を目指して～	5	札幌市の産業を支える基盤づくり ～企業誘致～	9
		札幌市のSDGs達成に向けた取組	10

2 札幌市の財政

平成30年度一般会計決算	～収支の状況・歳入～	11	特別会計・出資団体	20
平成30年度一般会計決算	～市税収入～	12	企業会計	21
平成30年度一般会計決算	～歳出～	13	市場公募地方債発行団体の推移と札幌市の取組状況	22
義務的経費		14	発行実績	23
災害関連決算の概要		15	発行計画	24
市債残高の推移		16	起債運営と信用力	25
主要財政指標の状況（1）		17	【参考】札幌案内	26
主要財政指標の状況（2）		18	札幌市債に関するお問い合わせ	28
基金の状況		19		



1 札幌市の概要・主要施策



SAPPORO



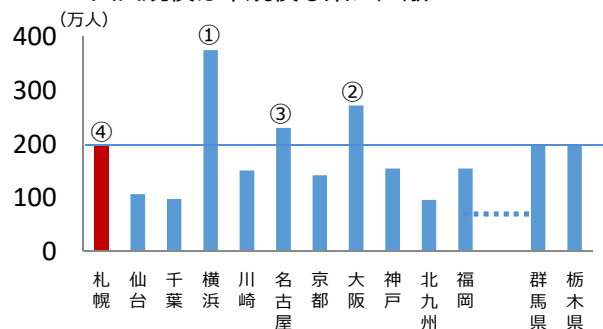
札幌市のプロフィール

SAPPORO

- ★ 人口・経済規模において、中規模な県に匹敵
- ★ 空港などへの交通アクセスが良く、地理的優位性を持つ

人口規模

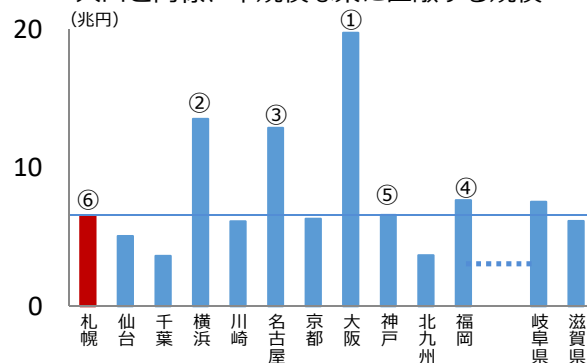
- 人口約**196万人**（指定都市中4位）
- 人口規模は中規模な県に匹敵



出典：住民基本台帳 平成31年1月1日時点

経済規模

- 域内総生産は約**6.6兆円**（指定都市中6位）
- 人口と同様、中規模な県に匹敵する規模



出典：県民経済計算（平成27年度・名目）

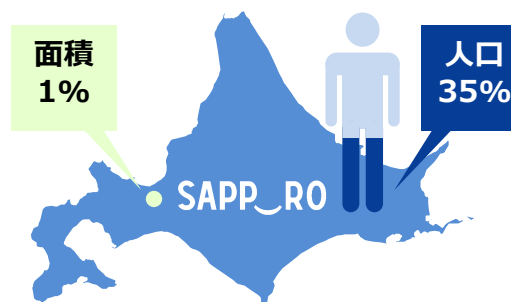
充実の交通アクセス

- 新千歳空港までJRで**37分**
- 拠点港湾への快適アクセス



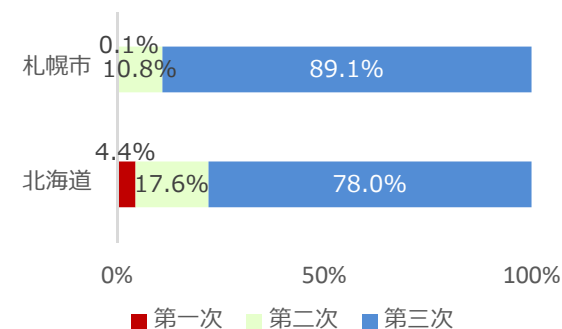
北海道における札幌市

- 面積の占める割合はわずか**1%**
- 人口・総生産は**1/3**以上を占める



産業の特徴

- 第3次産業に特化
- **観光産業**へ注力



出典：県民経済計算（平成27年度・名目）

選ばれるブランドカ

- 国内1,000の市区町村を対象に、認知度や魅力度、イメージ等を総合して評価
- 札幌市は**13年連続3位**以内

年度	1位	2位	3位	都道府県1位
2013	京都市	函館市	札幌市	北海道
2014	函館市	札幌市	京都市	北海道
2015	函館市	札幌市	京都市	北海道
2016	函館市	京都市	札幌市	北海道
2017	京都市	函館市	札幌市	北海道
2018	函館市	京都市	札幌市	北海道

出典：地域ブランド調査2006～2018

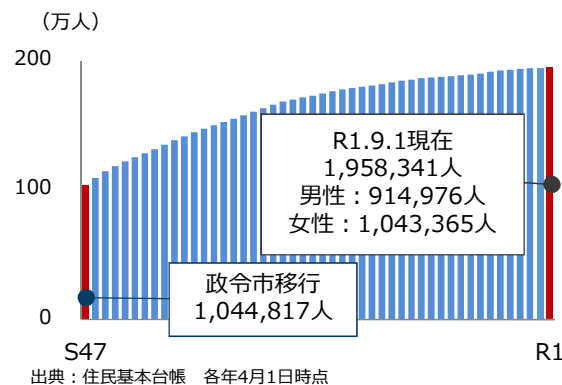
※都道府県は2009年から調査対象

札幌市の人口

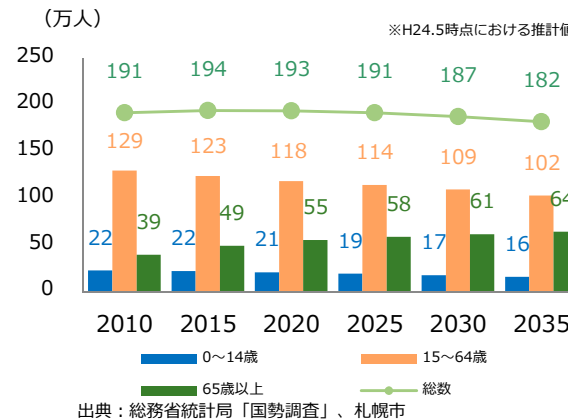
SAPPORO

- ★ 札幌市の人口は、政令指定都市移行後も、一貫して増加してきたが、ここ数年のうちに人口減少が始まる見込み
- ★ 札幌市の人口の将来展望や、H27～R1の基本目標、施策等を示す新たな計画としてさっぽろ未来創生プランを策定

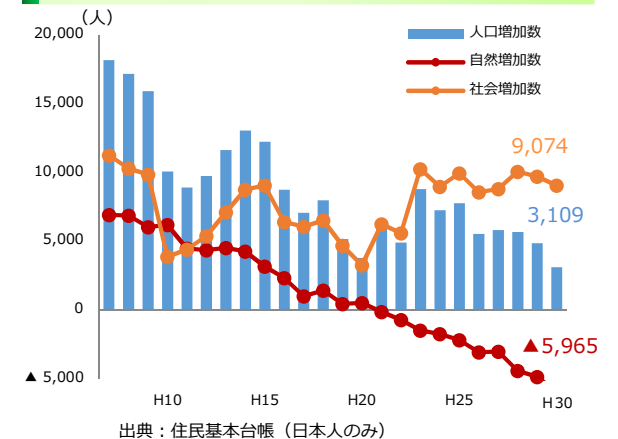
政令市移行後の人口推移



人口の将来推計



人口動態



札幌市の人口における課題

自然減の主な要因

- 低い合計特殊出生率と高い未婚率
- 未婚率が高い背景には経済的な不安感

■ 合計特殊出生率(H29)

札幌市	東京都	全国
1.16	1.21	1.43

■ 女性の未婚率（単位：%）

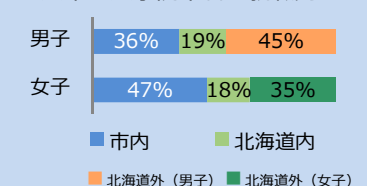
年齢	札幌市	全国
総数	27.5	23.2
25～29歳	66.6	61.3
30～34歳	41.9	34.6
35～39歳	30.4	23.9

(H27.10.1現在)

社会増の実態

- 北海道内からは転入超過である一方、北海道外へは転出超過
- 20代若年層は他の年代よりも北海道外への転出超過が大きい

■ 大卒・大学院卒者の就職先



(H31.4.5現在)

さっぽろ未来創生プランの策定（H27～R1）

目指すべき将来～札幌市の基本方針～

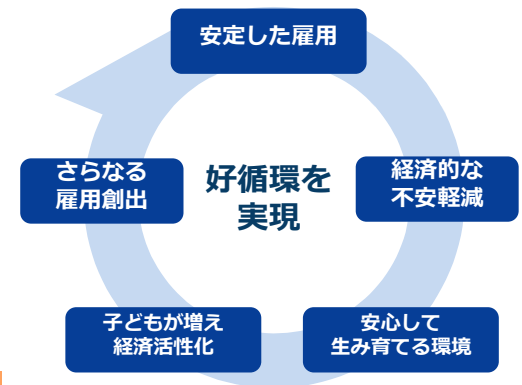
- 結婚や出産を望む市民の希望がかなえられる社会の実現
- 地域に定着できる環境づくり

基本目標1

- 安定した雇用を生み出す

基本目標2

- 結婚・出産・子育てを支える環境づくり

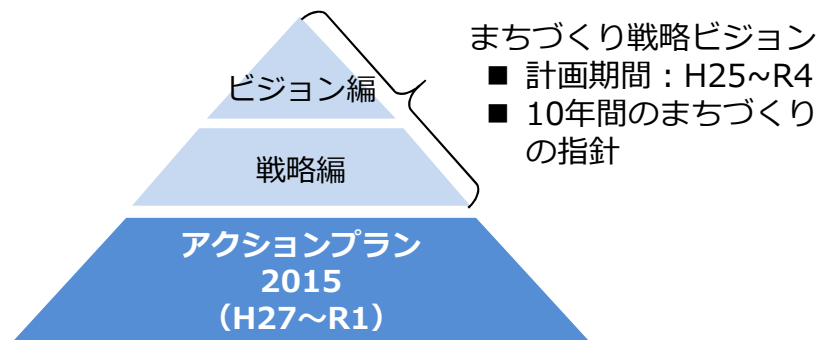


まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015

SAPPORO

- ★ まちづくり戦略ビジョンの実現を推進する中期実施計画である「まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015」を策定
(計画期間は平成27～令和元年度の5年間)
- ★ まちづくりの取組と行財政運営の取組を一体的に進める

計画体系



アクションプラン2015
の取組

予算運営手法の改革

- 中期財政フレームの策定、事業費の財源を確保し実効性を担保
- 各局のマネジメント機能強化

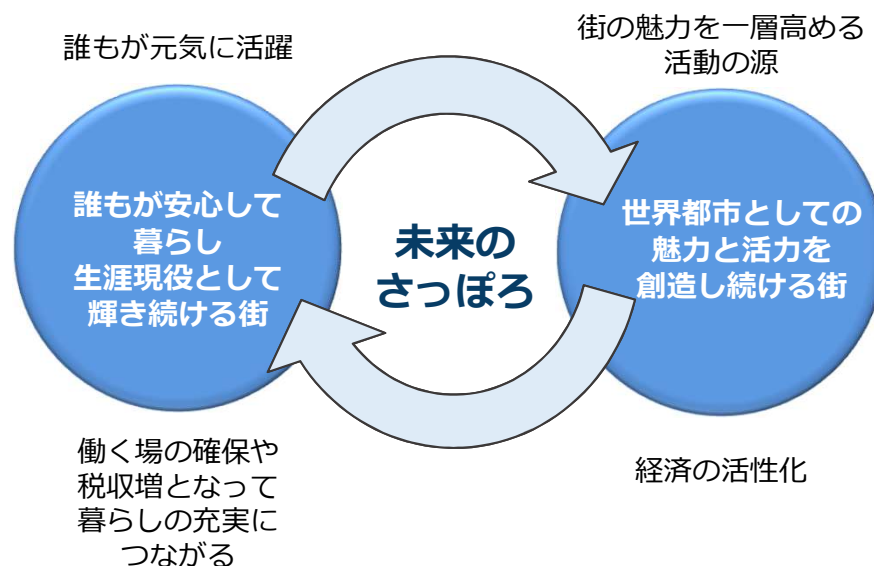
財政基盤の強化

- 地方税財源の拡充
- 税源涵養の推進
- 収納率の向上、債権管理
- 公有財産の戦略的な活用

歳入・歳出の改革

- 事務執行方法の見直し
- サービス水準のあり方の検討
- 受益者負担の適正化
- 企業会計繰出金の見直し

未来の札幌の姿



過去のプランの実績

全会計債務を約4,780億円削減

職員数を約2,000人削減

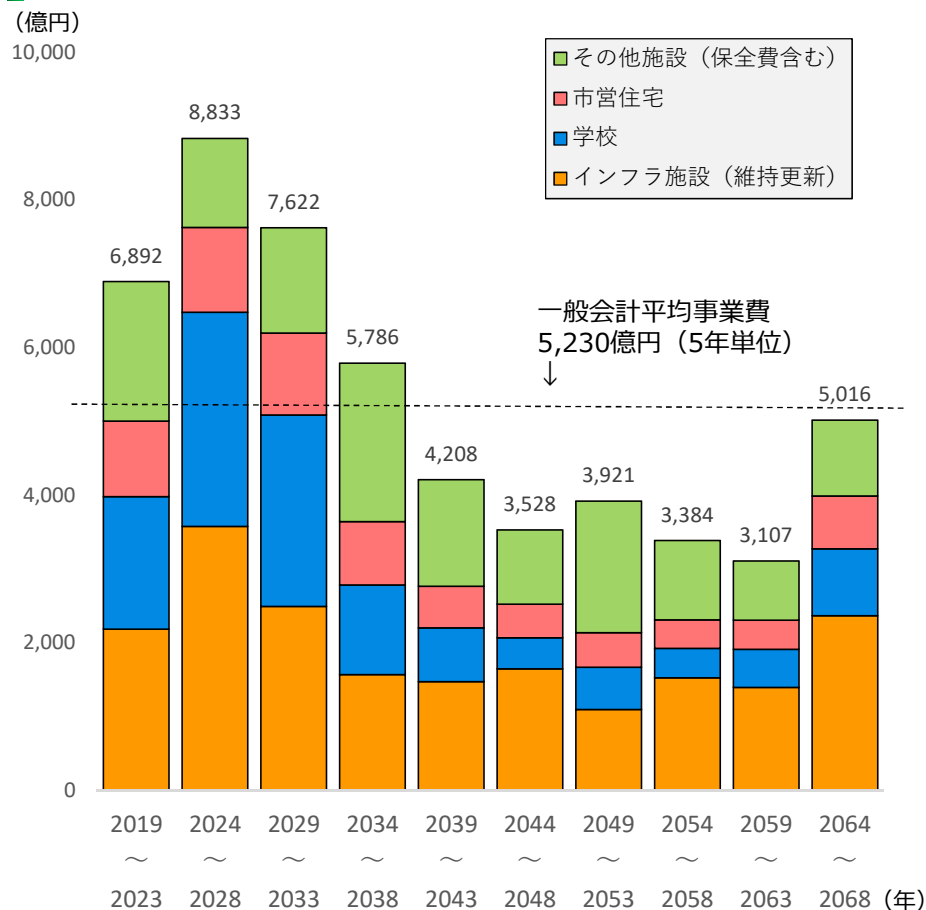
平成18年度から高速電車事業の
単年度黒字化を達成

公共施設マネジメントの取組

SAPPORO

- ★ 公共施設などの建替に係る事業費は、今後、5年平均5,230億円（各年度1,046億円）発生する見込み
- ★ 将来的な人口減少を見据え、将来世代に過度な負担を残さないまちづくりを推進
- ★ この取組のため、公共施設等総合管理計画の改定を進めており、今後の対策について年内公表予定

公共施設などの建替・保全費用の試算



今後の取組

長寿命化

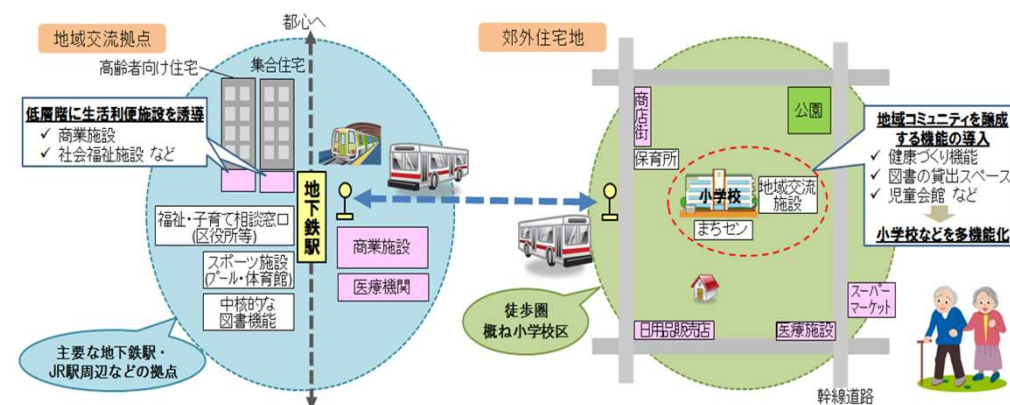
- 必要な修繕を行い、建物を長期的に使用

平準化

- 建替時期を分散させ、支出時期の偏りを減少

総量抑制と 機能維持の両立

- 公共施設の機能を維持しつつ、施設の集約化を実施
- 身近な地域に必要な機能は、徒歩圏の小学校などに複合化
- 広く市民生活を支える機能は、地域交流拠点に集約化



（札幌市まちづくり政策局「札幌市市有建築物の配置基本方針（平成26年度策定）引用」）

札幌の魅力発信 ～来客数1,800万人を目指して～

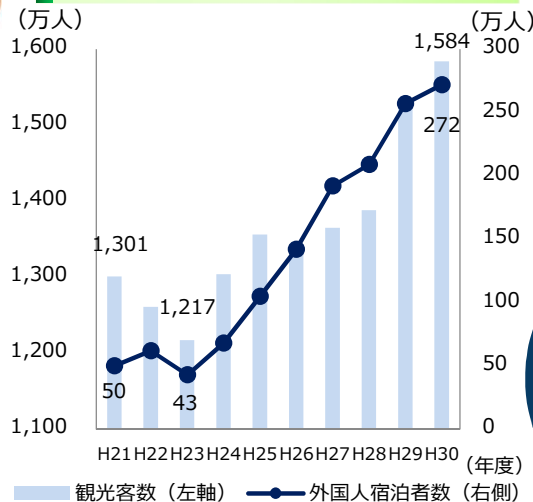
SAPPORO

観光産業へ注力

- 様々な業種に経済効果が波及する裾野が広い
- 札幌市経済全体の活性化につながる

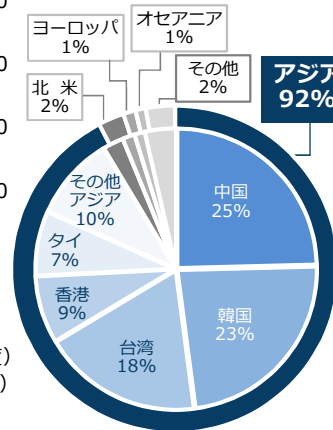
安定的な
雇用の創出

観光客数の推移



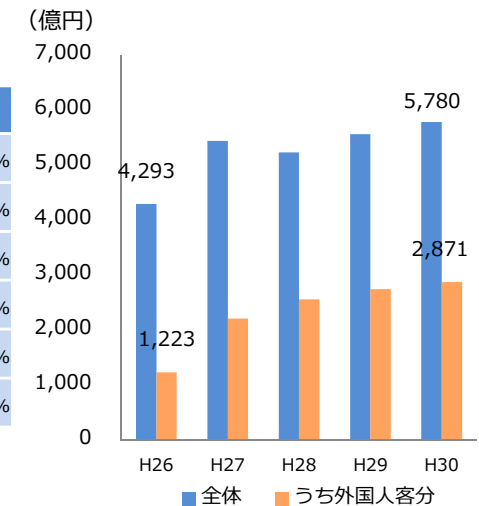
増加するアジアからの観光客

- 来札する外国人の92%がアジアから
- 誘致を強化してきた東南アジアについても年々増加している



発地	H30年度 宿泊者数	前年度 対比
タイ	202,772人	149%
シンガポール	98,149人	102%
マレーシア	95,855人	99%
インドネシア	39,587人	116%
フィリピン	28,642人	133%
ベトナム	5,234人	146%

総市内観光消費額



アジア圏や欧米豪をターゲットとした誘致活動

- | 地域 | 活動内容 |
|-------|--|
| 東アジア | <ul style="list-style-type: none"> ■ 台湾第二の都市である高雄での認知度向上を目指し、現地旅行博へ出展 ■ 本市北京事務所のネットワークを活かしたBtoBアプローチ、微信（WeChat）での観光魅力PR等を実施 |
| 東南アジア | <ul style="list-style-type: none"> ■ 東南アジアの各市場に対して、札幌を中心とした北海道ハインフルエンサーの招請を実施 ■ 今後さらに伸びが期待できる新興市場に対して、プロモーションを実施 |
| 欧米豪 | <ul style="list-style-type: none"> ■ ラグビーW杯で札幌を会場に試合が行われる、英・豪へのプロモーションを実施 ■ 仏・独・米に対して、海外OTA等、Webを中心としたプロモーションを実施 ■ 欧州・豪州からの直行便就に絡めたプロモーションを実施 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 京都市などと連携し、富裕層を顧客とするエージェン트가集まる商談会へ参加 ■ 札幌を含む北海道でアドベンチャートラベルを推進するため、国際商談会を誘致 |

来札者の利便性向上に向けて

「Sapporo City Wi-Fi」の運用

- 外国人観光客の利便性および満足度の向上を図るため、市営地下鉄（16駅）や主要な観光施設等にてWi-Fiを運用

富裕層の受入環境整備

- 観光消費単価が高い欧米富裕層等の取込を目指し、市内の既存宿泊施設が行う富裕層向けの受入環境整備（富裕層の受入に向けたコンサルティング、施設改修、接客研修等）に対する補助を実施

今後の取組

- インバウンドや富裕層の取り込みや、滞在日数の延長など、観光消費の拡大に向けた取組を進める

成果指標

総市内観光消費額

現状値	目標値
2018年度 5,780億円	2022年度 7,000億円

年間来客数

現状値	目標値
2018年度 1,584万人	2022年度 1,800万人

夢・誇り・感動を ～2030年冬季オリンピック・パラリンピック招致～

SAPPORO

1972 “Sapporo”の名が一躍世界へ

- アジア初の冬季オリンピック開催。札幌の名声を世界中に広め、都市の国際化に大きく貢献
- 競技施設が充実したことで、スキージャンプの世界大会が開かれるなど、冬季スポーツの拠点としての地位を確立
- 「道央自動車道」「札幌自動車道」の一部が開通したほか、オリンピックの開会式・閉会式が行われた真駒内地域と都心を結ぶ「地下鉄南北線」が開業



開催データ

- 会期 1972年2月3日～13日 (11日間)
- 競技数 6競技35種目
- 会場数 14会場
- 参加国数 35か国
- 選手・役員数 1,655人
- 関連施設整備費 約2,000億円 (高速道路、地下鉄含む)
- 大会運営費 約81億円

オリンピック・パラリンピック招致の意義とまちづくり

オリンピック・パラリンピックの意義

- 子どもたちに夢と希望を与え、冬季スポーツを振興し、世界平和に貢献

北海道・札幌が目指すまちづくりを加速

- インバウンドの拡大に向け、札幌の魅力を世界に発信
- 多様性を尊重する心を育み、共生社会の実現を目指す
- ハード、ソフト両面から都市のリニューアル（ビルの建替、超高齢社会を見据えたバリアフリーの推進）

ニセコエリアと一体となったウィンタースポーツリゾート



	札幌～倶知安
現在	約2時間
開通後	約25分



- 新幹線延伸と合わせ、ニセコエリアと一体となったウィンタースポーツリゾートの推進

国際スポーツイベント開催の推進

- 地域スポーツコミッションを設置してスポーツイベント等の誘致を戦略的に実施
- スポーツイベントの開催により街の魅力を高めることで、世界中から人、モノ、情報などを引き付ける

ラグビーワールドカップ2019

- 競技会場：札幌ドーム
- 競技日程：
 - 9.21 オーストラリア v フィジー
 - 9.22 イングランド v トンガ



その他の主なイベント

- 【東京2020オリンピック競技大会】
 - 競技会場：札幌ドーム
 - 開催競技：サッカー（10試合）
 - 競技日程：2020.7.22～29



- 【NHK杯国際フィギュアスケート】
 - 競技会場：真駒内公園屋内競技場（1972札幌五輪会場）
 - 競技日程：2019.11.22～24



北海道新幹線

～国内外からのアクセスの向上～

SAPPORO

本州とのネットワーク強化によって人の流れが活性化



区間	新幹線	航空機
札幌⇄函館	1時間13分	約2時間30分
札幌⇄青森	2時間18分	約2時間50分
札幌⇄盛岡	2時間49分	約2時間30分
札幌⇄東京	5時間01分	約3時間30分

※ 整備後の所要時間は交通政策審議会 整備新幹線小委員会資料、J R東日本プレスリリース、2016年4月時刻表を基に算出
※ 航空機の所要時間は主要駅から空港への移動、空港から主要駅への移動を含む

大宮
東京

延伸事業費と札幌市の財政負担

- 札幌延伸分の総事業費 1兆 6,700億円のうち札幌市内分は約2,100億円。この約2,100億円を以下のフレームで負担

貸付料	国負担 (2/3)	地方負担 (1/3)	
	公共事業関係費	都道府県負担	市町村負担

地方債		一般財源
交付税措置 45%	地方負担 45%	10%

札幌市への様々な効果

(開業初年度)	道央					
		札幌市	道南	道北	その他の地域	全道
純増交流人口 (万人)	36.3	33.3	15.7	13.5	11.4	42.4
総消費額 (億円)	560	535	34	38	31.0	663
生産波及効果 (億円)	778	683	57	65	64.0	964
全道シェア (生産)	80.8%	70.9%	5.9%	6.8%	7%	

【試算】北海道総合政策部 2013.6 (開業5年前倒し決定前の2035年度開業時の推計値)

札幌早期開業に向けた機運醸成

『北海道フェアin代々木でのPR活動』

- 北海道観光振興機構との連携によりPRブースを出展
- 1日も早い札幌開業の機運醸成を図る



(東京代々木公園でのPR活動)

変わりゆく街並み

SAPPORO

- ★ 平成23年3月、札幌駅と大通を結ぶ地下歩行空間の開通によって、都心の人の流れが活性化
- ★ 今後、札幌駅～すすきの間の施設整備、「北1西1地区」や「南2西3南西地区」の再開発事業などにより、さらなる中心街の活性化を図り、沿道のビルの建替・更新を誘発

再開発事業等による都市整備の推進

民間投資を活用した再開発等を積極的に展開



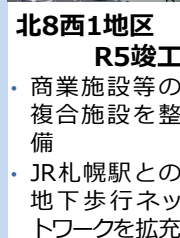
**北1西1地区
H30竣工**

- ・文化芸術の拠点である市民交流プラザやオフィス等を整備



**南2西3南西地区
R4竣工**

- ・商業施設やオフィス、マンション等を整備
- ・路面電車ループ化に対応する滞留空間を整備



**北8西1地区
R5竣工**

- ・商業施設等の複合施設を整備
- ・JR札幌駅との地下歩行ネットワークを拡充

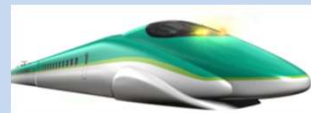


**北3西3南地区
R1竣工**

- ・オフィス、商業施設を整備
- ・札幌駅前通地下歩行空間との接続空間や屋内広場を整備

新幹線開業と札幌駅周辺の整備

新幹線改札口と直結する北5西1・西2地区の再開発では、両街区を一体的に利用した約20,000㎡の敷地にバスターミナルや商業施設、高機能オフィス、国際水準のホテル等の複合施設を整備
また、周辺の北4西3地区や北5東1地区においても再開発の機運が高まるなど、2030年度の北海道新幹線の札幌開業を見据えたまちのリニューアルを推進



新MICE施設整備事業



大規模な国際会議等を誘致するため、メインホール・会議室・展示場等が一体となった新たなMICE施設を整備

路面電車のループ化整備 平成27年12月 開業



低床車両の導入及びすすきの～大通地区の軌道ループ化

※2013 グッドデザイン賞（低床車両）
※2017 グッドデザイン賞（停留場）
※2017 国際交通安全学会賞（ループ化事業）

都心における開発誘導方針の策定

容積率の割増等の緩和策を用いて、世界に誇れる環境性や防災性を備え、高次の都市機能を集積する開発を誘導し、札幌都心ブランドを確立

札幌駅前通地下歩行空間整備 平成23年3月 開通

札幌～大通間を結ぶ地下通路の整備と、民間の再開発による都心部の活性化と魅力の再生

駅前通通行量 約3倍

2.9	9.0
開通前	開通3年後



※2012グッドデザイン賞受賞

札幌市の産業を支える基盤づくり

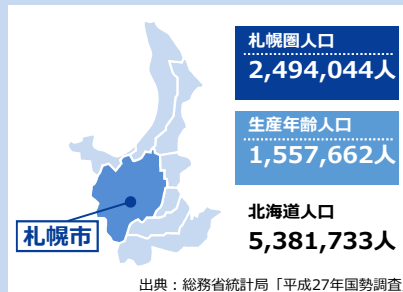
～企業誘致～

SAPPORO

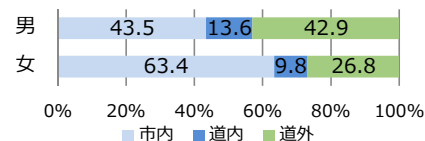
★ 雇用の創出や経済の活性化、産業基盤の強化を図るため、本市の「強み」を活かした本社機能移転をはじめとする企業の立地を促進

250万都市圏の豊かな人材

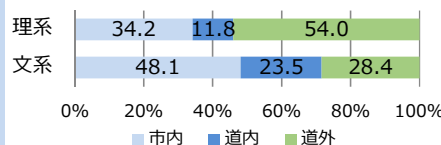
- 北海道人口の45%が集中
- 強い地元就職志向
- UIターン希望者の多さ



■ 理系の希望就職地別学生数の割合



■ 就職地別就職者数の割合



優れたビジネス環境

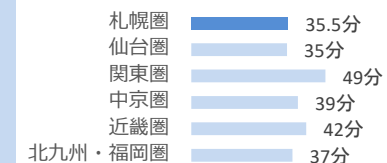
- 低いオフィス賃料
中心部のオフィス賃料は丸の内の約3分の1
- 冷暖房費の抑制
- 研究機関が多数所在



住みやすい生活環境

- 通勤時間が短く、ラッシュ時の最大混雑率は大都市圏で最低
- 住宅費がリーズナブル
- スギ花粉の飛散量が少なく、春先も快適

■ 通勤・通学時間



「本社機能の移転」・「先端技術分野」等の誘致

本社機能の移転

事業継続計画（BCP）の観点からのリスク分散や人材確保を目的に、本社機能の一部を移転

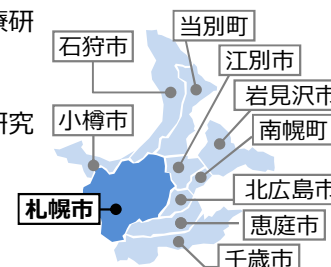
- アクサ生命保険株式会社
2014年札幌本社を設立
- アフラック生命保険株式会社
2016年札幌システム開発
- ダイヤモンドヘッド株式会社
2018年札幌支社を本社化
- 日昭アルミ工業株式会社
2018年札幌に工場設立、本社移転



周辺自治体と連携した企業誘致

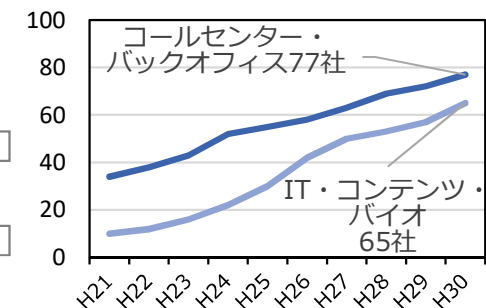
2019年より「さっぽろ連携中枢都市圏」としての誘致PRを強化。食、健康医療バイオ分野などの工場等が近隣市町村へ進出した場合、札幌市も補助。

- ニプロ株式会社再生医療研究開発センター
2016年札幌市に立地
札幌医科大学との共同研究
- 敷島製パン株式会社
2018年江別市に立地
パン、菓子の製造工場



コールセンター、IT企業など

誘致のための支援施策（補助金）を活用して立地した企業数



札幌市のSDGs達成に向けた取組

SAPPORO

- ★ 内閣府が「SDGs未来都市」に札幌市を選定
- ★ 「次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市『環境首都・SAPPORO』」の実現に向け、SDGsの取組を強化

「SDGs未来都市」に決定

- 2018年6月、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として内閣府が選定する「SDGs未来都市」に札幌市が決定
- 自治体によるSDGs達成に向けた取組を全国から公募し、優れた取組を提案する都市を選定
- 持続可能な環境都市・札幌を目指すため、環境・経済・社会に関する課題解決に向けた取組を行う



SDGs達成に向けた取組

日本初のSDGs環境・経済循環都市の形成

世界のモデルとなる「低炭素で持続可能なスマートシティづくり」を推進

- 都心部の高性能なオフィス環境ビルへの建替促進
- 低炭素で持続可能なまちづくりを先導するMICE施設の整備
- 歩いて回遊しやすいリバブルなまちづくりの推進

持続可能な生産と消費の確立

- 北海道の中心都市として、道内の資源やエネルギーを適切に消費し、地域内での経済循環の活性化を目指す
- 持続可能な生産を消費側から支えるため、2019年6月1日に「フェアトレードタウン」に認定



フェアトレード関連ラベル

SDGs クリエイティブアワード

- SDGs達成に向けた取組や情報についての短編映像作品の募集・表彰（全国から150作品以上の応募）
- 映像・クリエイティブから世界を変革するインパクトのある作品を、札幌から世界に向けて発信



SAPP_RO

2 札幌市の財政

SAPPORO



平成30年度一般会計決算

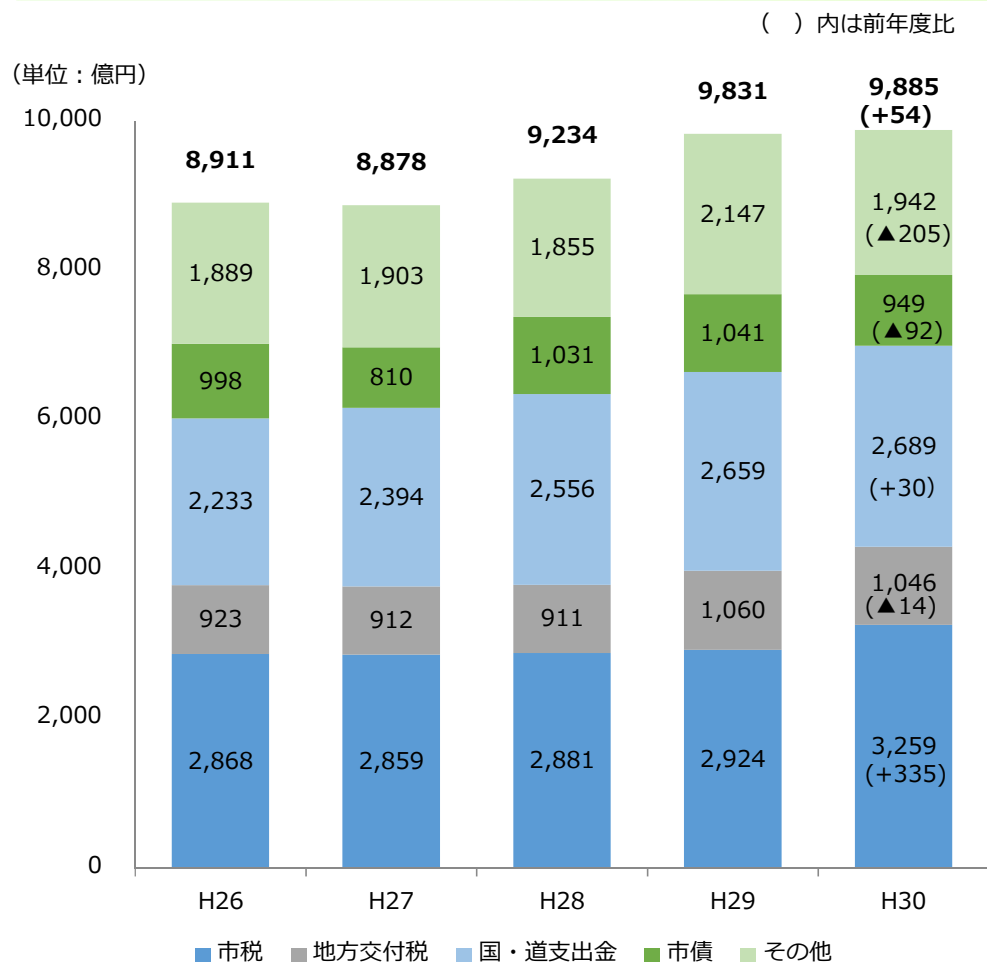
～収支の状況・歳入～

SAPPORO

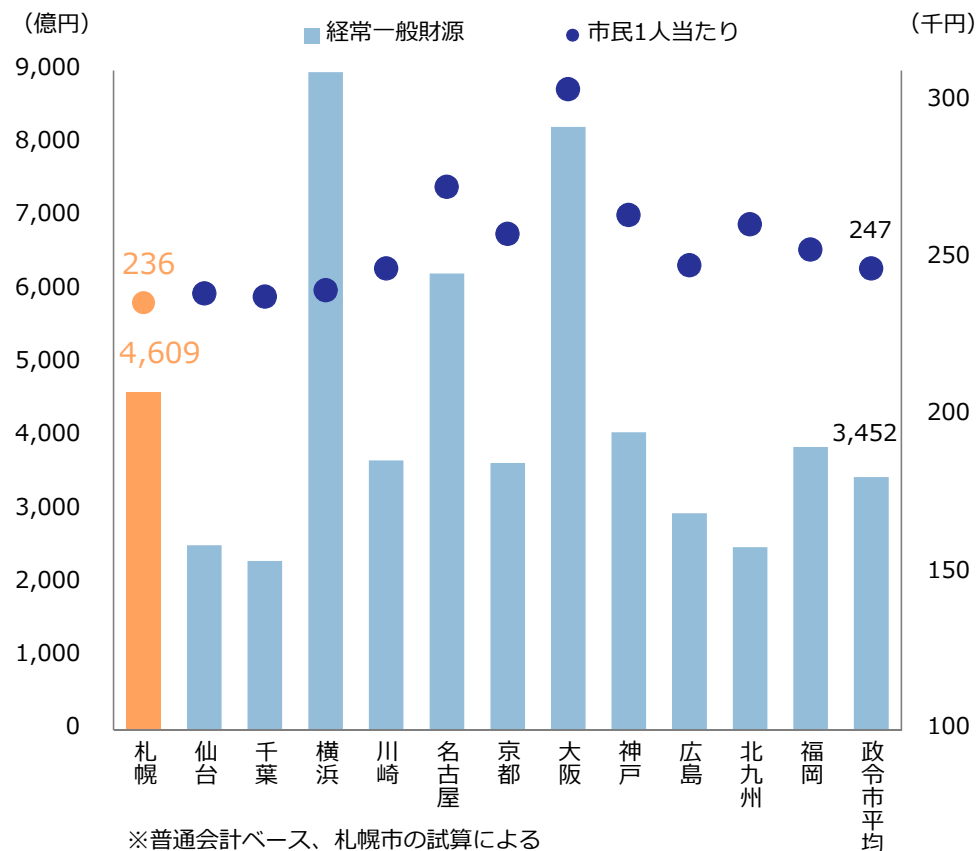
★ 平成30年度決算における歳入は、前年度比0.6%増の9,885億円

★ 市税（11.4%）、国・道支出金（1.1%）が増加

歳入の内訳



【参考】政令市の経常一般財源（平成29年度決算）



経常一般財源

毎年度定例的に歳入され、かつ、その用途についてなんらの制約がない収入額。
例えば、地方税、普通交付税、経常的に収入される使用料・手数料など。

平成30年度一般会計決算

～市税収入～

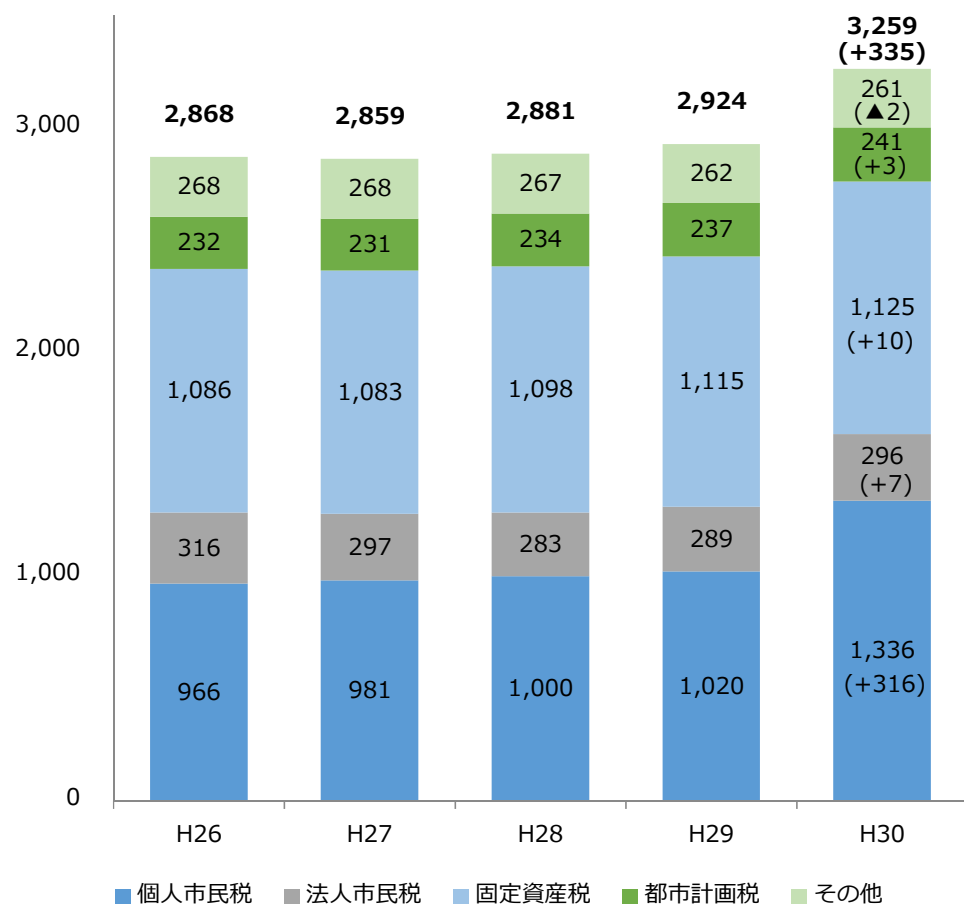
SAPPORO

- ★ 市税収入は、個人市民税及び固定資産税などが増えたことにより前年度から335億円（11.4%）の増
- ★ 滞納整理を強化し、収納率は政令市平均を上回る水準

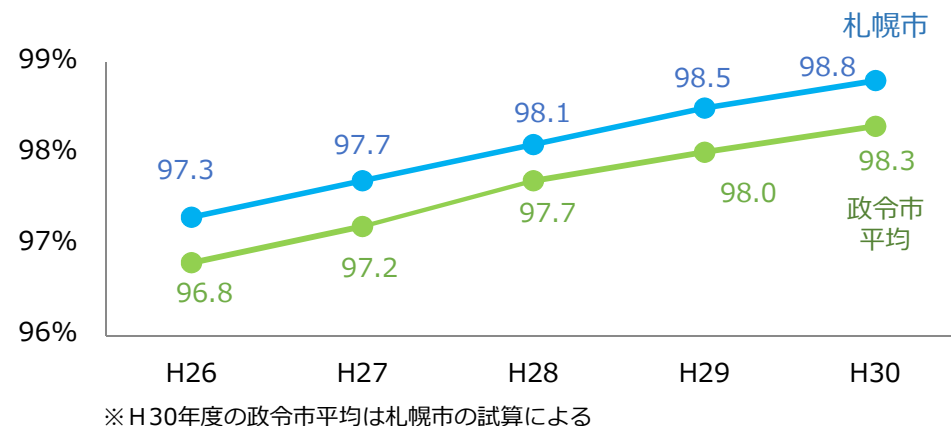
直近5年間の市税収入額

(単位：億円)

() 内は前年度比

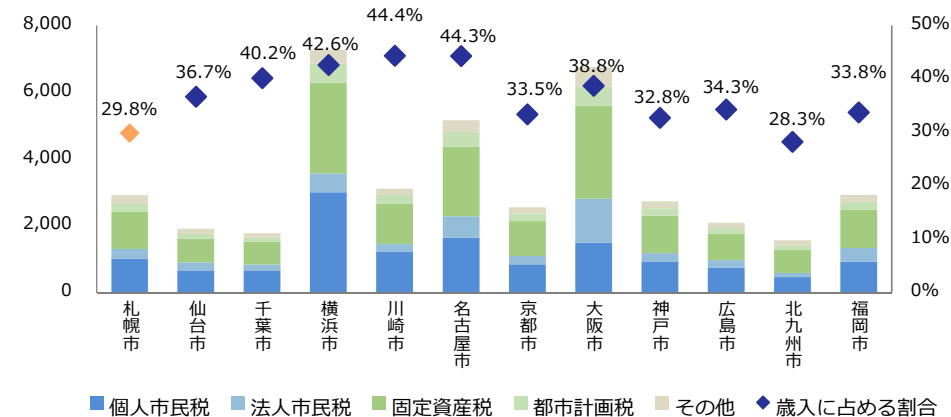


市税収入率の推移



【参考】政令市の税収構造（平成29年度決算）

(単位：億円)



※ 普通会計ベース、札幌市の試算による

平成30年度一般会計決算

～歳出～

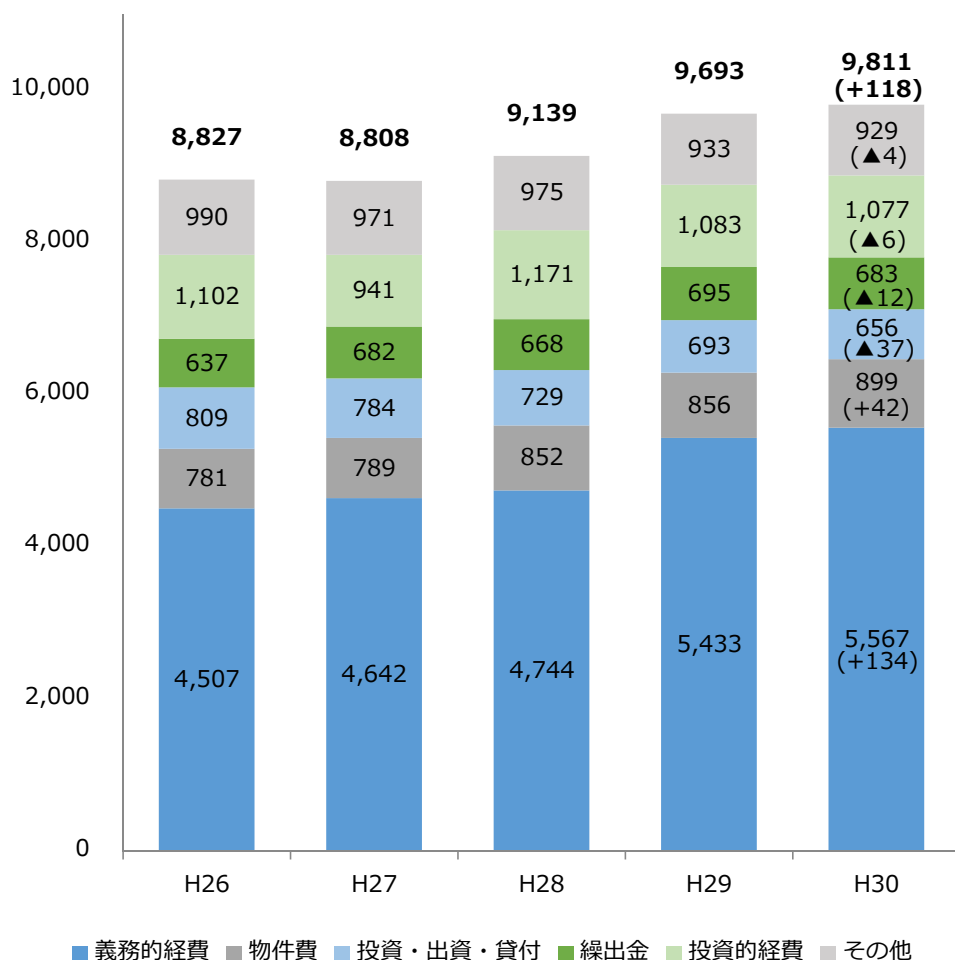
SAPPORO

- ★ 歳出総額は前年度比1.2%増の9,811億円
- ★ 扶助費及び公債費が増加したことで、義務的経費が増加

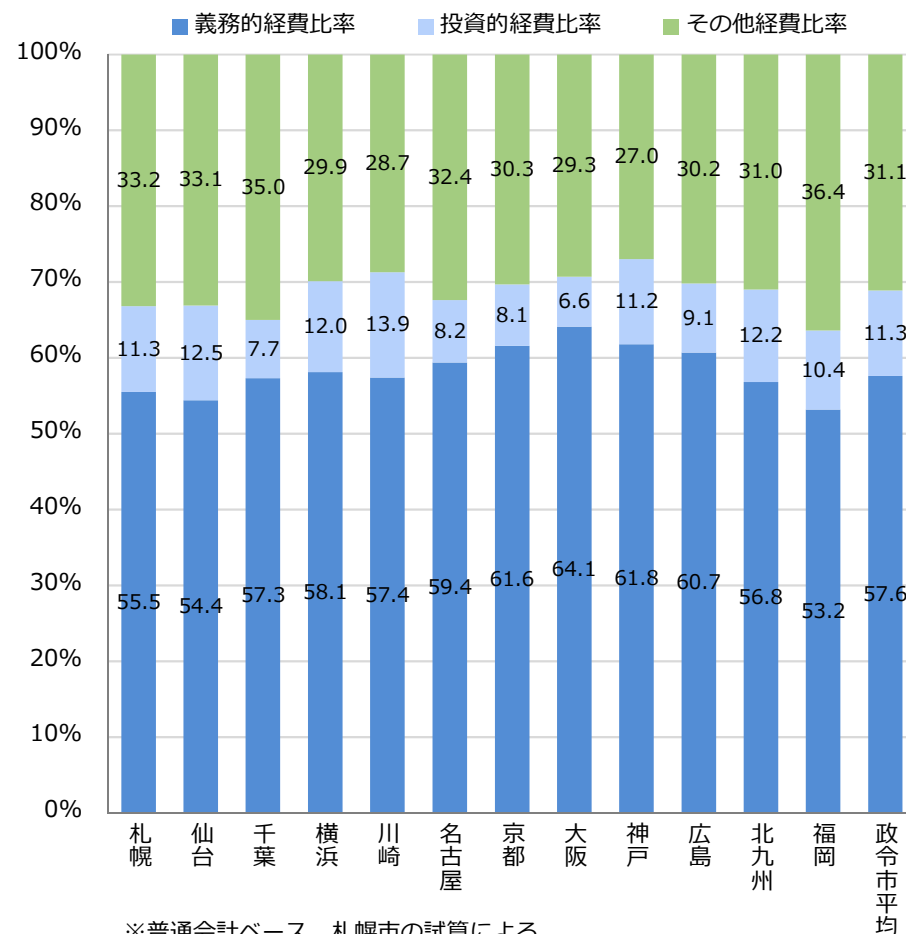
歳出の内訳

(単位：億円)

() 内は前年度比



【参考】政令市の歳出の比較（平成29年度決算）



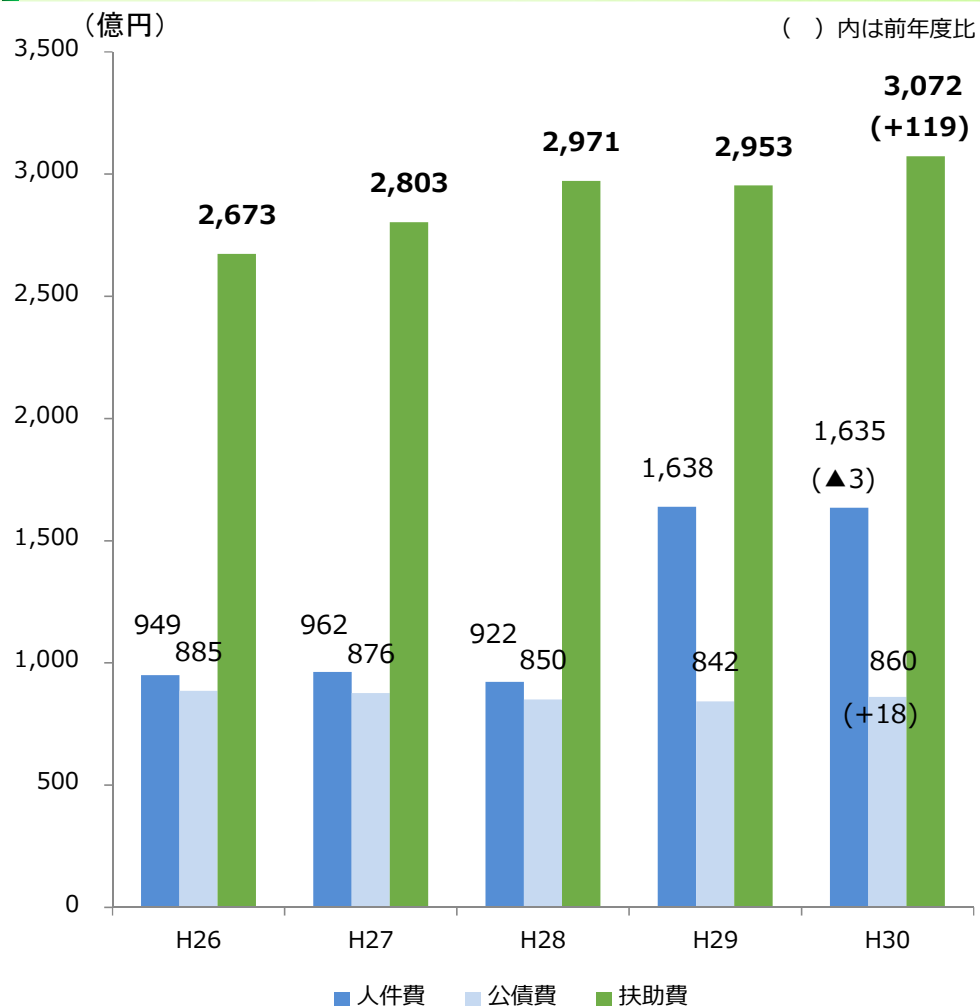
※普通会計ベース、札幌市の試算による

義務的経費

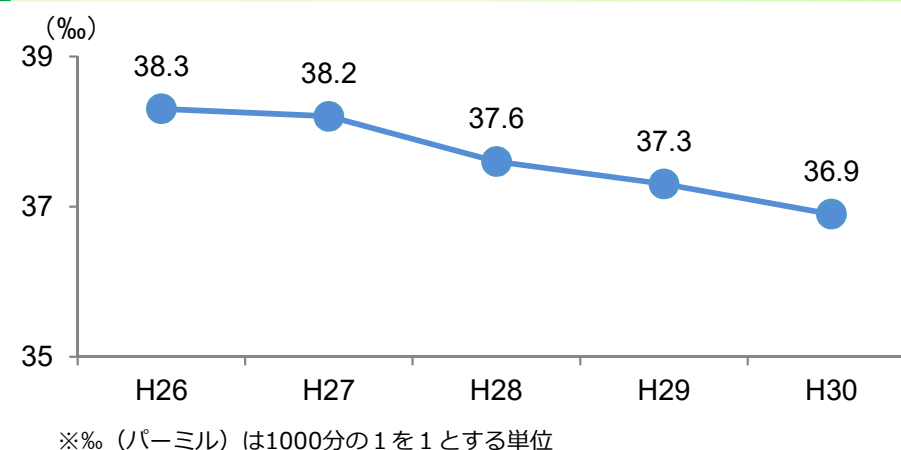
SAPPORO

- ★ 基準改定による生活保護扶助費の減等の一方、認定こども園・幼稚園・保育所等の運営のための給付などの増により、扶助費は増加
- ★ 平成29年度の人件費の増は、県費負担教職員の権限移譲に伴うもの
- ★ 職員の数、他の政令市と比較して低水準

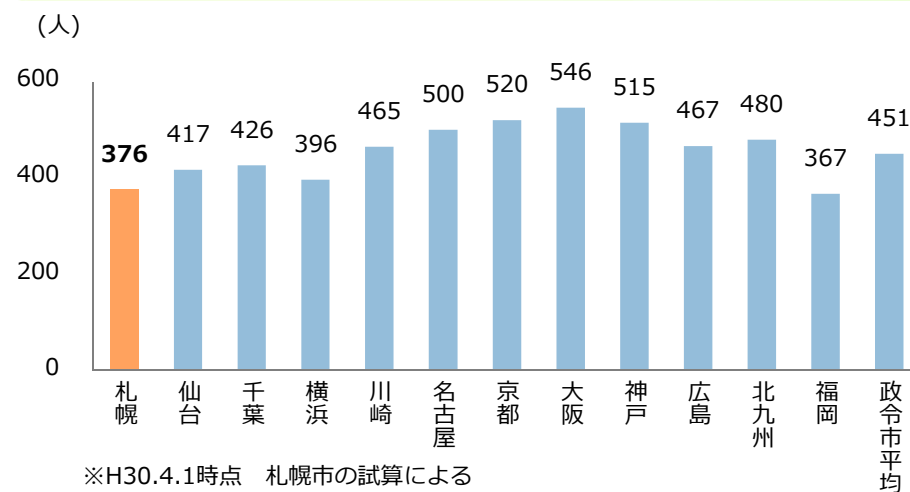
義務的経費の推移



生活保護率の推移



【参考】市民10万人あたりの職員数（一般行政職員）



災害関連決算の概要

- ★ 北海道胆振東部地震及び台風21号の対応として、平成30年度一般会計災害関連補正予算額は178億円を計上
- ★ 事業の進捗に合わせて必要な経費は翌年度に繰り越した上、平成30年度の決算額は55億円
- ★ 今後も防災・減災への対応や都市の強靱化に向けた取組を実施していく

平成30年度一般会計災害関連予算の執行状況

(単位：千円)

項目		予算額			決算額	翌年度への繰越額
		補正	執行 ※	最終		
災害復旧	公共施設等の復旧に係る経費など	9,850,400	0	9,850,400	4,418,009	5,158,311
被災者支援	被災した方の生活・住宅に関する支援に係る経費など	1,806,000	128,367	1,934,367	361,917	342,788
防災・減災	避難所の備蓄物資の増強や非常用電源整備等、今後の災害への備えに係る経費など	5,781,000	0	5,781,000	113,000	5,644,228
その他	観光復興支援や避難所の設営・運営に係る経費など	354,000	390,714	744,714	642,067	0
合計		17,791,400	519,082	18,310,482	5,534,993	11,145,327

※「予算額」欄中の「執行」は、既往予算で対応した額

(参考) 令和元年度一般会計災害関連予算の状況（第3回定例市議会まで計184.1億円を計上）

当初予算 154億円

- 復旧、被災者支援
- 地域防災計画策定・修正
- 観光客受入環境整備
- 非常用電源整備、エネルギー対策
- 施設等の耐震化
- インフラの強靱化

2 定補正予算 13.4億円

- 避難所・社会福祉施設・病院等の災害対応力強化
- 災害時の行政サービスの継続
- 災害に備えた都市の強靱化

3 定補正予算 16.7億円

- 震災時消防体制強化
- 道路等災害復旧費
(擁壁補修、排水管補修 など)

市債残高の推移

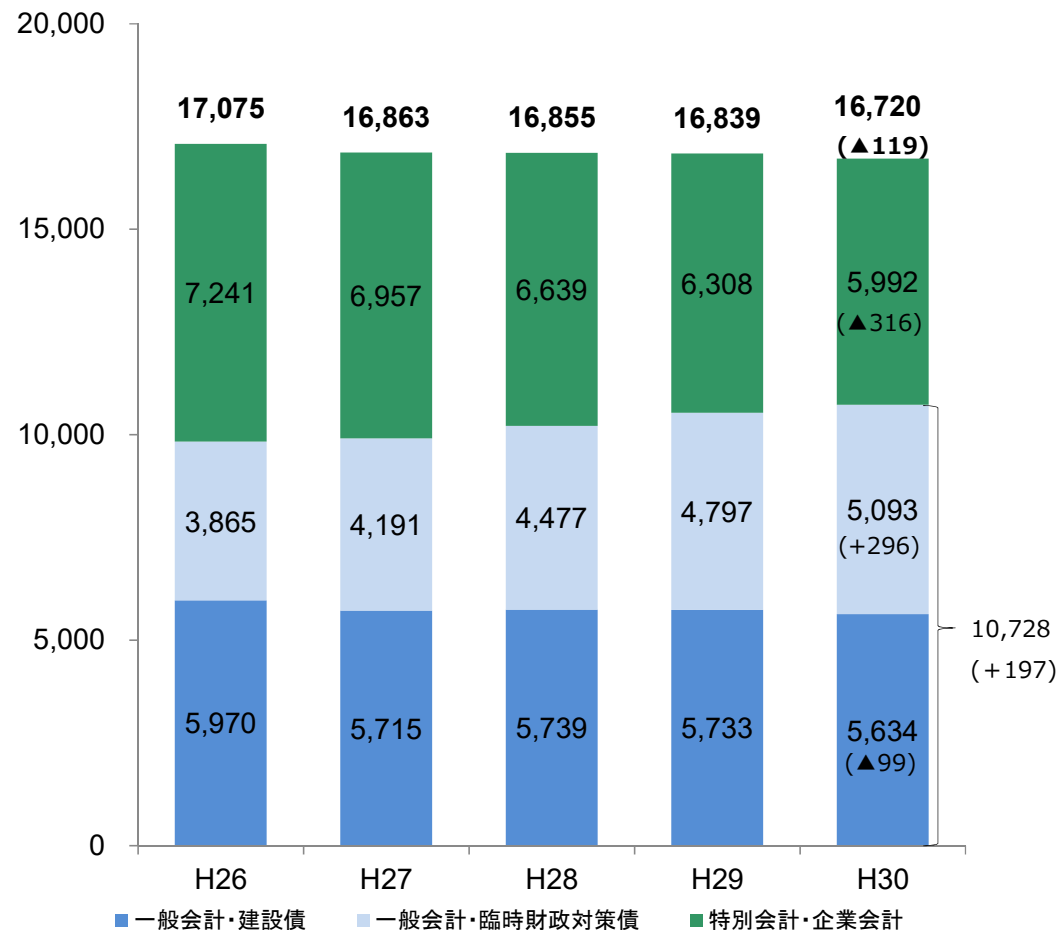
SAPPORO

★ 全会計ベースの市債残高は15年連続で減少

★ 一般会計の市債残高は、主に臨時財政対策債の残高の増加により前年度比1.9%増の10,728億円

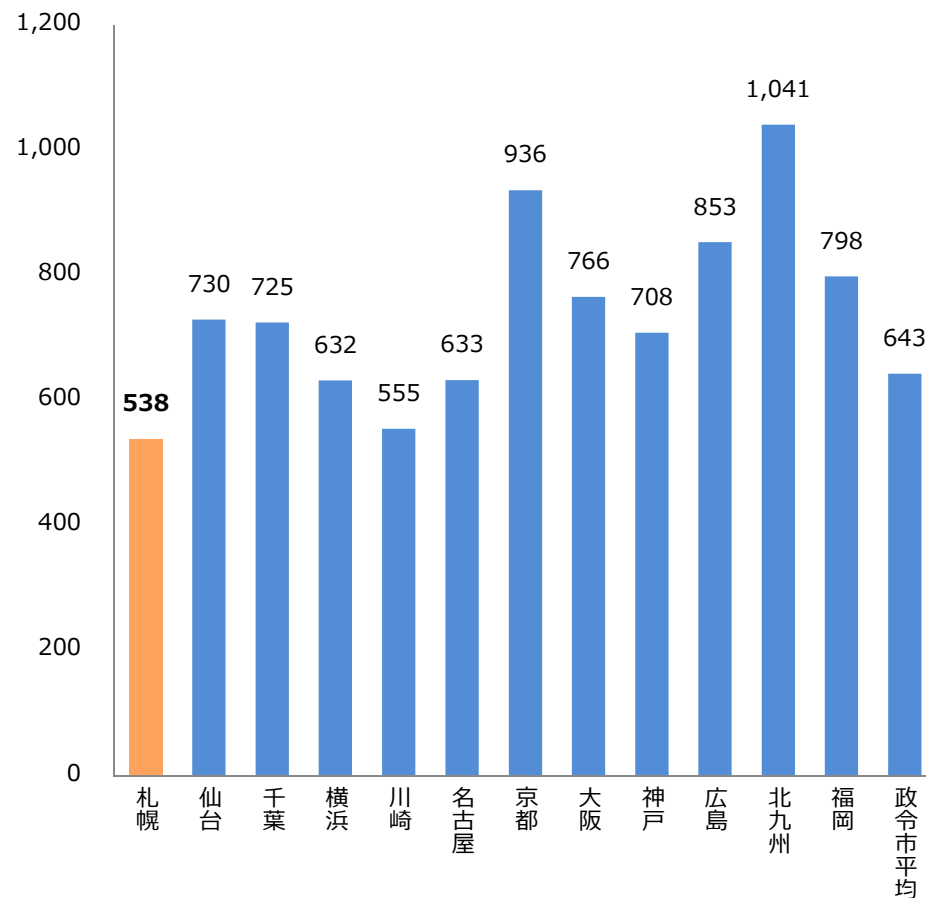
直近5年間の市債残高

(単位：億円)



【参考】政令市の市民一人あたりの市債残高

(千円)



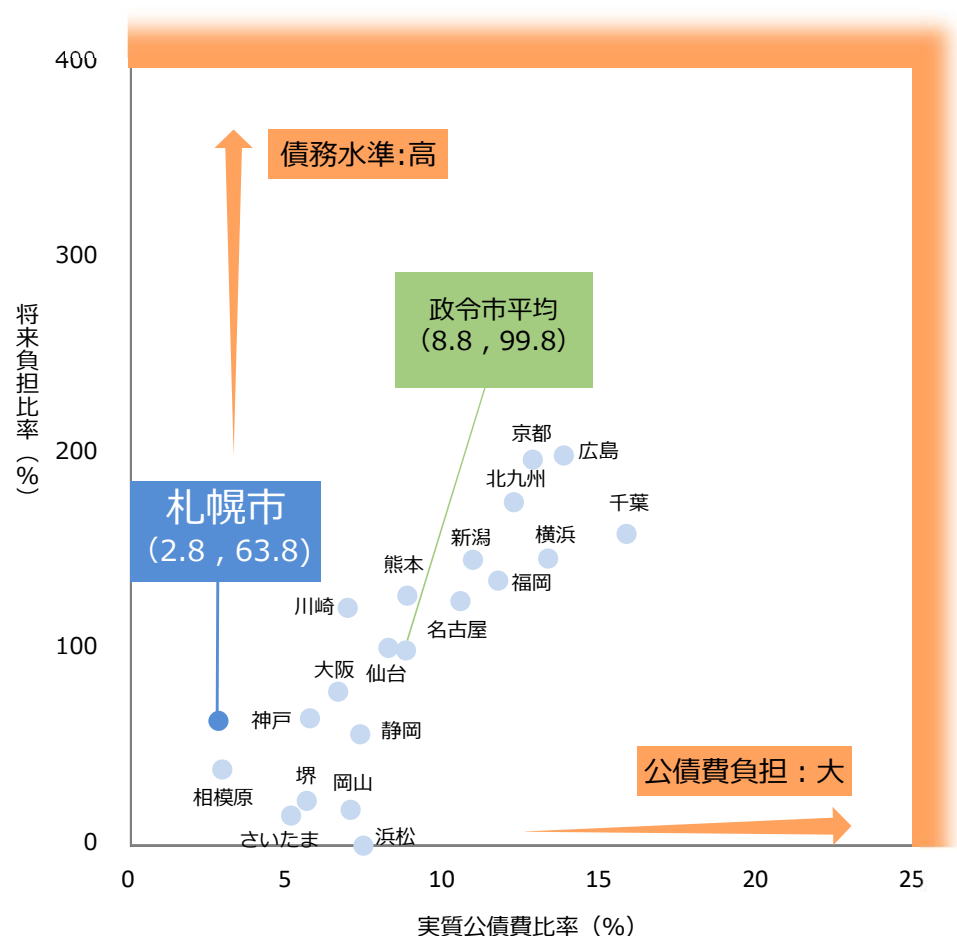
※普通会計ベース、残高はH29年度決算、人口はH30.4.1時点、札幌市の試算による

主要財政指標の状況（１）

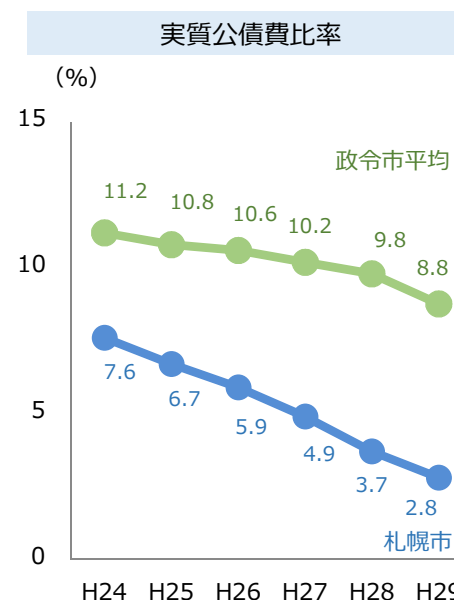
SAPPORO

- ★ これまでの継続的な取組により、実質公債費比率は好転し、政令市トップの低さに
- ★ 今後も財政規律の堅持に努め、健全な水準を維持

政令市の財政健全化判断比率（平成29年度）

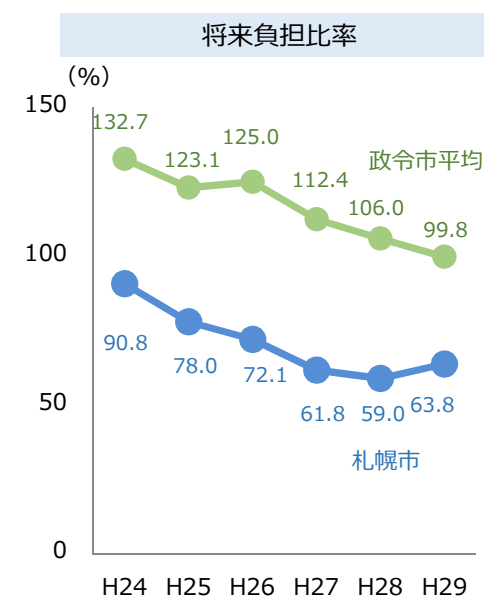


札幌市の健全化判断比率の推移



※ 実質公債費比率とは

地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したもので、18%以上の団体は起債に際し総務省の許可が必要



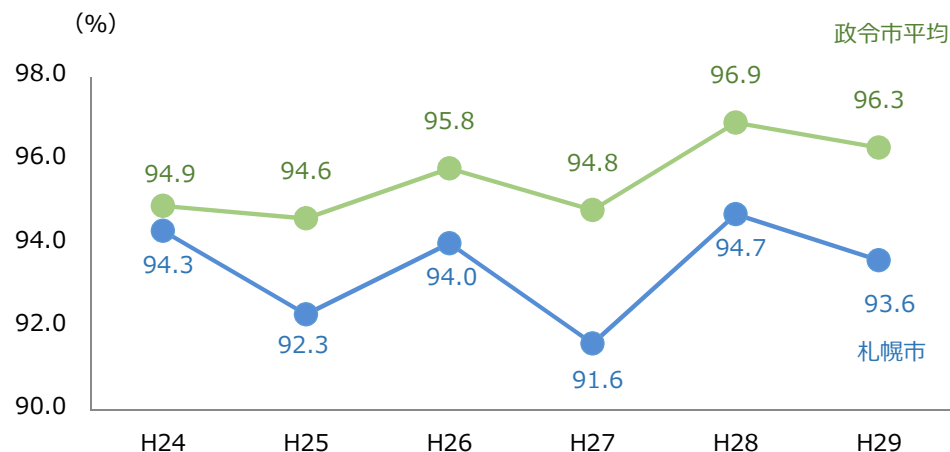
※ 将来負担比率とは

現在抱えている負債が財政規模に占める割合。400%を超える団体は「早期健全化団体」となり、財政健全化計画の策定が必要

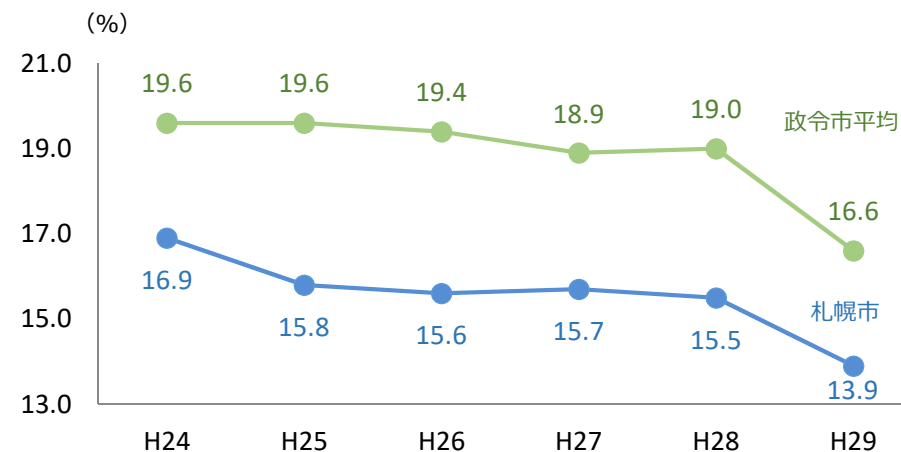
主要財政指標の状況（2）

- ★ 経常収支比率、公債費負担比率は、政令市平均と比べ健全な状況を維持
- ★ 財政力指数はやや低く、税源の更なる涵養が課題

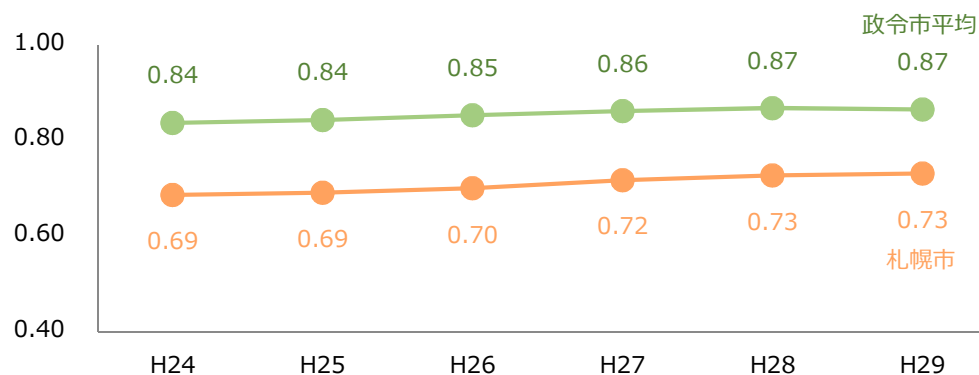
経常収支比率



公債費負担比率



財政力指数



※ 経常収支比率とは

経常的経費に充当した一般財源が、経常一般財源、減収補てん債特例分、臨時財政対策債の合計に占める割合。高くなるほど、財政構造の弾力性が低いことを示す。

※ 財政力指数とは

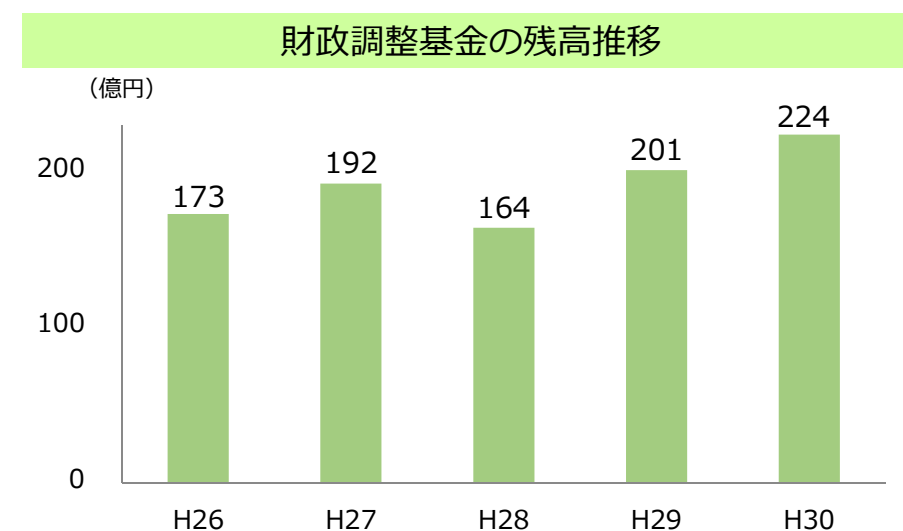
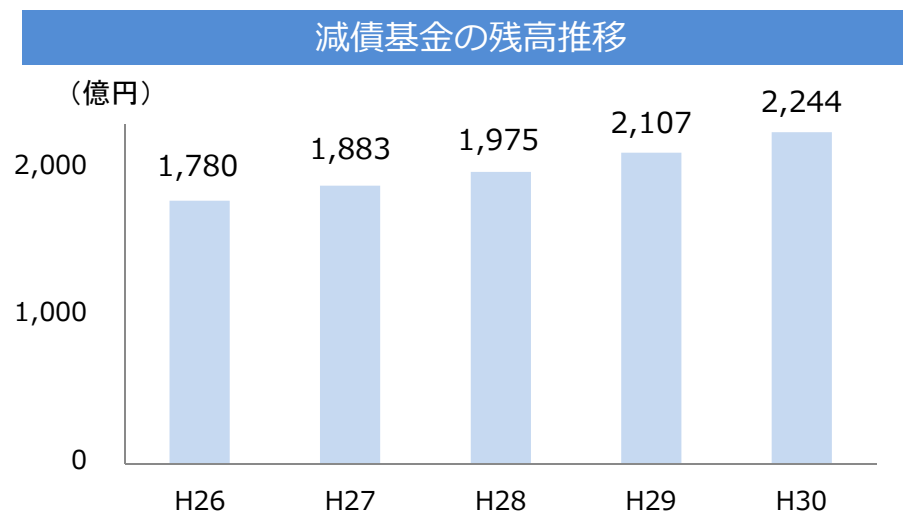
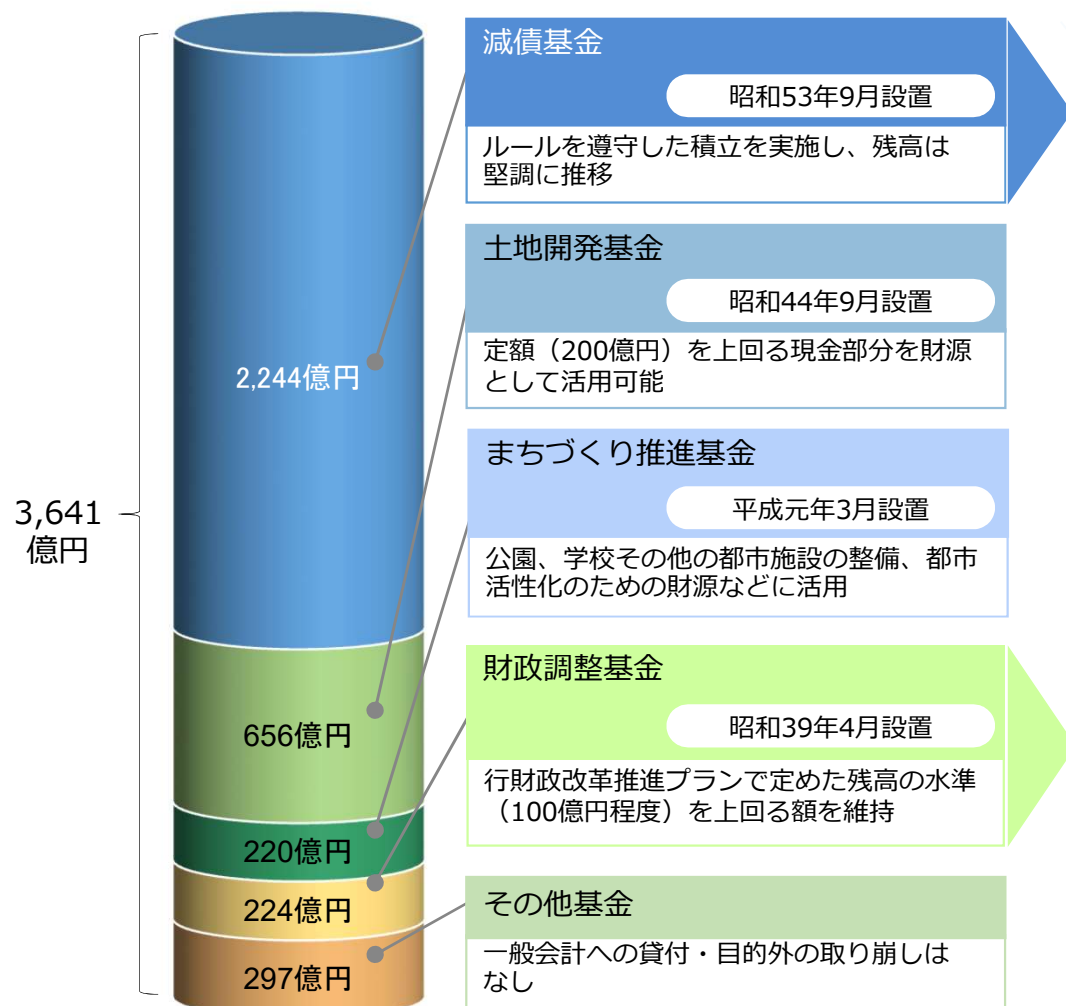
数値が高いほど自主財源の割合が高く、1を超える団体は普通地方交付税の交付を受けない。

※ 公債費負担比率とは

公債費に充当した一般財源が、一般財源総額に占める割合。財政構造の弾力性を示す指標で、高くなるほど一般財源の自由度が制約されていることを表す。

基金の状況

- ★ 21基金を設置、平成30年度末時点の残高は3,641億円
- ★ 基金の設置目的から外れる貸付・取崩は一切行っていない

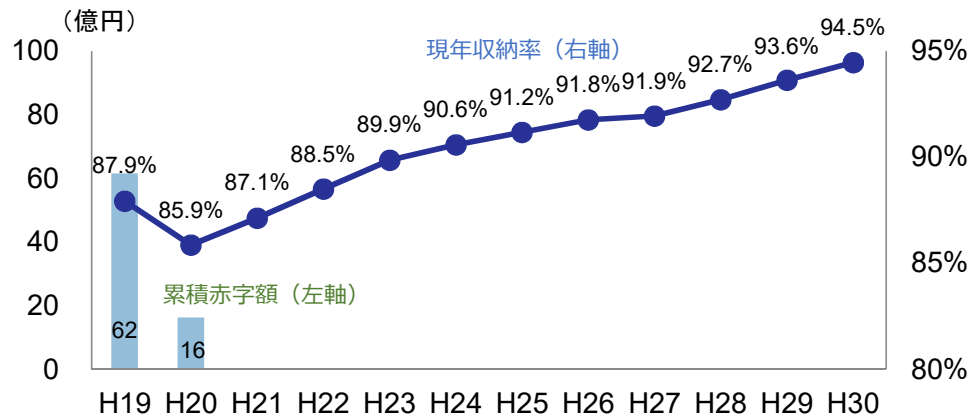


特別会計・出資団体

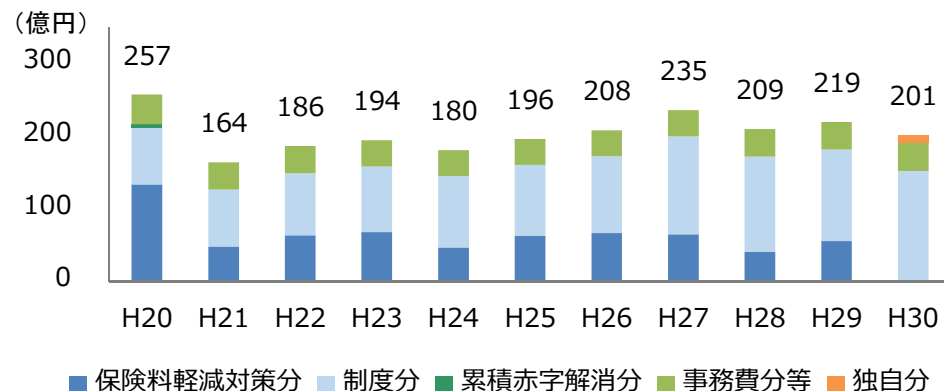
- ★ 札幌市の特別会計は7つ。国民健康保険会計は、平成21年度に累積赤字を解消し、以降は黒字で推移している
- ★ 平成27年度末に「出資団体の在り方に関する基本方針」を策定し、出資団体への出資・出捐等について、更なる見直しを実施

国民健康保険会計の累積赤字額と収納率の推移

- 収納率向上等により、H21決算より累積赤字を全額解消
- 保険料滞納の未然防止の取組などで、収納率はH21以降上昇



国民健康保険会計に対する繰出金の推移



出資団体改革の歩み（～平成27年度）

出資団体改革プラン
(平成17～20年度)

出資団体改革新方針
(平成21年度～27年度)

統廃合等	財政的関与	人的関与
(H17.9) 38団体	(H17年度) 520億円	(H17.4) 182人
↓	↓	↓
(H27.4) 30団体	(H27年度) 300億円	(H27.4) 45人
<8団体の減少>	<220億円の縮小>	<137人の削減>

平成28年度以降の取組

- 「出資団体の在り方に関する基本方針」をH27年度末に策定

次の観点ごとの方針のもと、今後の関与の在り方を検討

①出資・出捐	②人的関与
③団体の活用	④更なる経営の安定化
⑤団体統制	⑥札幌市の施策との連動

基本方針の内容を具現化するため、団体個別の行動計画を策定（H28）

取組の一例

- 出資比率が25%超の出資団体のうち、5団体で出資金の引揚げ
- その他14団体でも、今後、出資・出捐金の引揚げ等を検討

- ★ 高速電車事業（地下鉄）については、経営改善に向けた取組の結果、平成18年度から営業収支、経常収支ともに黒字を達成
- ★ 平成30年度の収益的収支は、中央卸売市場事業が赤字、病院事業、軌道事業、高速電車事業、水道事業、下水道事業は黒字を達成

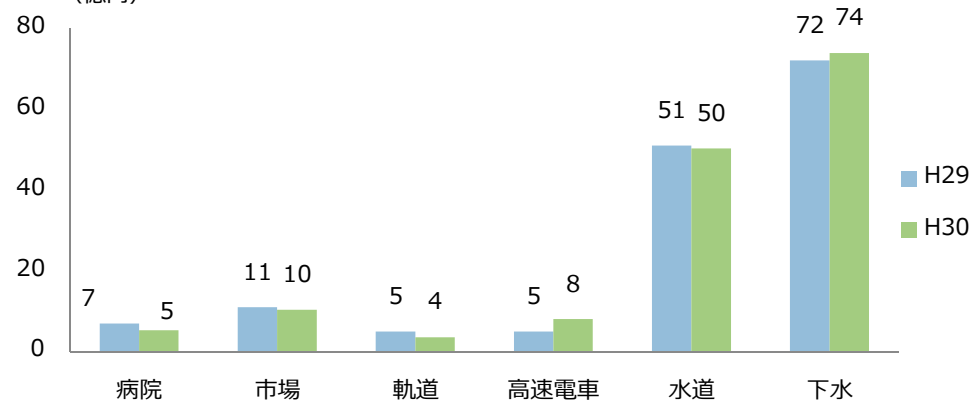
収益的収支と企業債残高（平成30年度）

（千円）

会計名	収益的収支	前年度比	企業債残高	前年度比
病院事業	501,923	1,013,598	14,707,109	▲ 1,896,415
中央卸売市場事業	▲ 190,810	▲ 72,677	10,906,689	▲ 1,140,724
軌道事業	46,665	2,332	2,404,789	439,689
高速電車事業	9,984,875	673,928	254,253,591	▲ 17,630,497
水道事業	10,473,040	▲ 1,676,327	70,887,348	▲ 6,506,930
下水道事業	3,705,106	▲ 235,301	244,440,922	▲ 4,818,946

企業会計が保有する資金量（年度末時点）

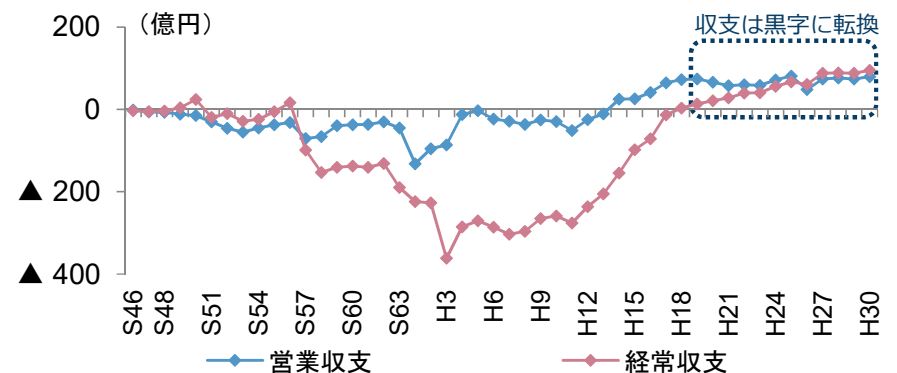
（億円）



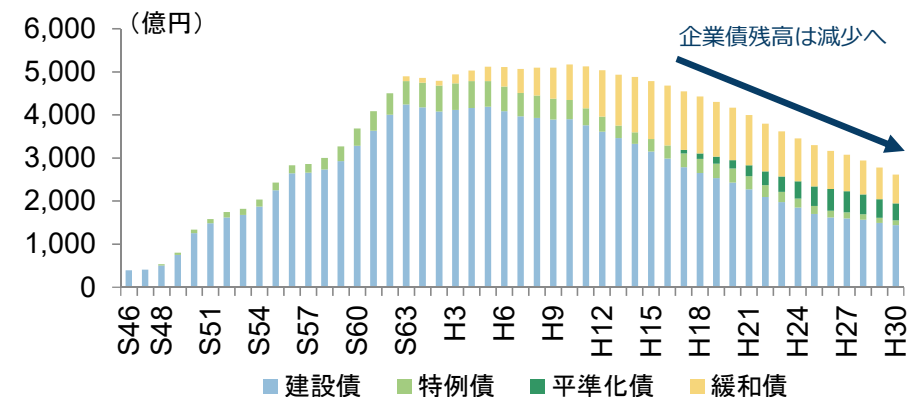
高速電車事業の経営改善の取組

- 駅業務の完全委託化、ワンマン運転化等の取組により、平成18年度から営業収支、経常収支ともに黒字を達成。
- 老朽化が進む施設・設備の保全改修を計画的に行い、更新に係る経費を平準化することで経営の安定化を図る。

収支の推移



企業債年度末残高の推移



市場公募地方債発行団体の推移と札幌市の取組状況

SAPPORO

- ★ 全国では55団体が全国型市場公募地方債を発行
- ★ 札幌市は、昭和48年度から継続して発行

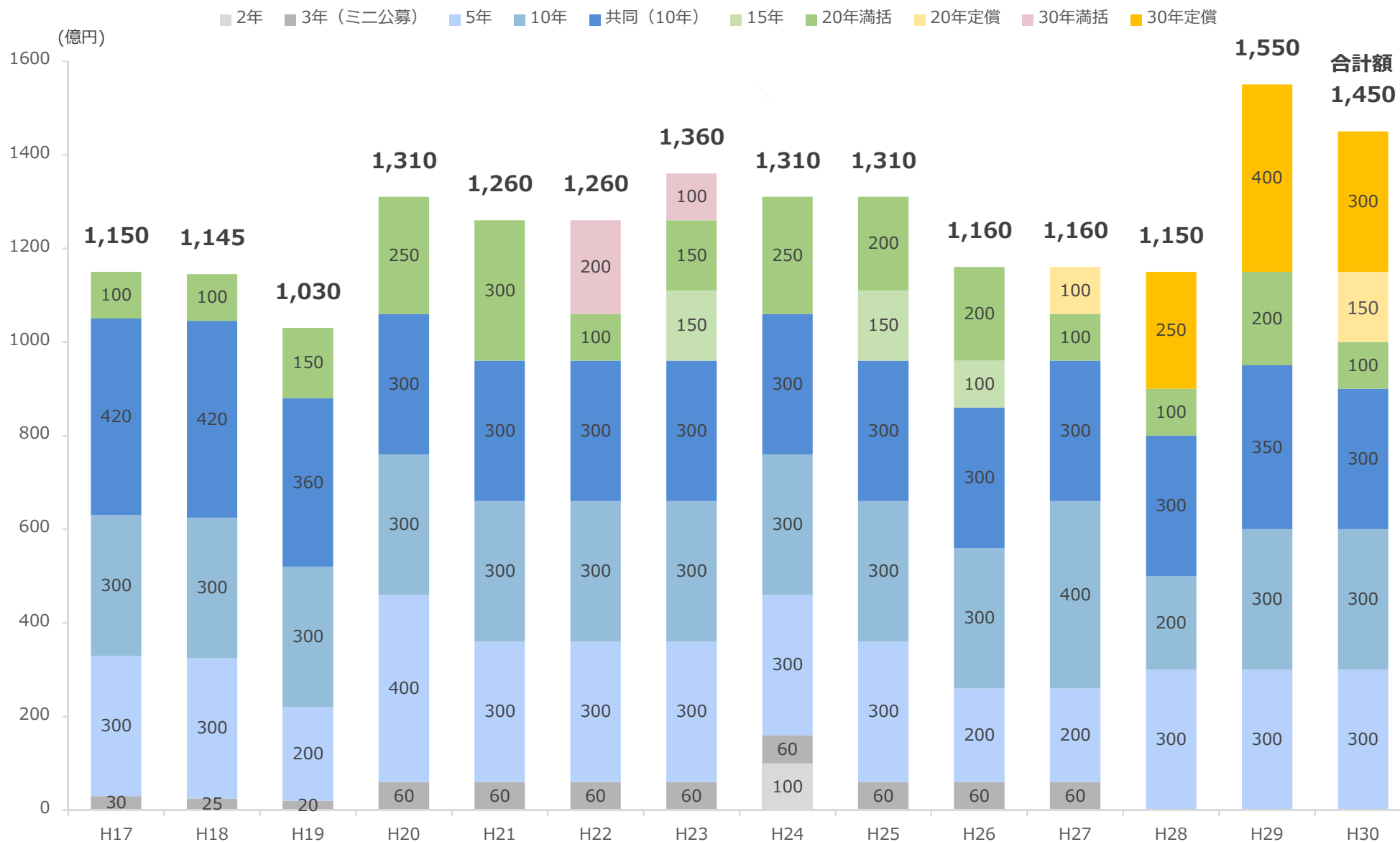
全国型市場公募地方債発行団体の推移

年 度	都道府県	政令指定都市	団体数 (累計)
昭和27年度	東京都、大阪府、兵庫県	横浜市、名古屋市、京都市 大阪市、神戸市	8
昭和48年度	北海道、神奈川県、静岡県 愛知県、広島県、福岡県	札幌市 、川崎市、北九州市 福岡市	18
昭和50年度	宮城県、埼玉県、千葉県、京都府		22
昭和57年度		広島市	23
平成元年度	茨城県、新潟県、長野県	仙台市	27
平成 6年度		千葉市	28
平成15年度		さいたま市	29
平成16年度	福島県、群馬県、岐阜県、熊本県		33
平成17年度	鹿児島県	静岡市	35
平成18年度	島根県、大分県	堺市	38
平成19年度	山梨県、岡山県	新潟市、浜松市	42
平成20年度	栃木県、徳島県		44
平成21年度	福井県、奈良県	岡山市	47
平成22年度	三重県	相模原市	49
平成23年度	滋賀県、長崎県		51
平成24年度		熊本市	52
平成25年度	高知県、佐賀県		54
平成27年度	秋田県		55

札幌市の取組状況

年 度	内 容
昭和48年度	市場公募債発行団体となる
平成 4年度	市場公募債の満期一括償還方式開始
平成12年度	定例債（シ団プレマ方式）5年債の発行開始
平成14年度	ミニ公募債の発行開始（3年債）
平成17年度	超長期債（主幹事方式）を発行（20年満期一括償還債）
平成18年度	個別条件交渉方式へ移行
平成22年度	超長期債（主幹事方式）の30年満期一括償還債を発行
平成23年度	超長期債（主幹事方式）の15年満期一括償還債を発行
平成27年度	20年定時償還債（主幹事方式）を発行
平成28年度	30年定時償還債（主幹事方式）を発行

★ 多様な年限の発行によりニーズに合った商品を展開、毎年度1,000億円超の安定した発行を継続



発行計画

SAPPORO

- ★ 市場公募債は、5年・10年の発行を継続
- ★ 令和元年度はフレックス枠で200億円を発行

年間			令和元年度													
			1Q			2Q			3Q			4Q			未定	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
市場 公募債	10年債	300億円	100			100			100						-	
	5年債	300億円	100						100			100			-	
	フレックス	200億円	100 30年定			100 20年定									-	
ミニ公募債（3年）		休止	休止										休止		-	
共同発行債		300億円	100	-	-	-	-	70	-	30	-	-	-	100	-	
市場公募債 計		1,100 億円	100	100	100	100	-	170	100	30	100	100	100	100	-	
(参考) 平成 30年度	10年債	300億円	100			100			100						-	
	5年債	300億円	100						100			100			-	
	フレックス	550億円	150 20年定			200 30年定			いずれも5月発行			100 30年定			100 20年満	-
	ミニ公募債(3年)		休止	休止										休止		-
	共同発行債		300億円	100	-	-	-	-	70	-	30	-	-	-	100	-
市場公募債 計		1,450 億円	100	350	100	100	-	70	100	130	200	100	100	100	-	

起債運営と信用力

SAPPORO

- ★ 外部格付機関（ムーディーズ）より、国債同等の格付けを取得しており、高い信用力を評価
- ★ 安定的な資金調達の実現のため、起債運営のあらゆる局面（IR－発行－債務管理）において、市場との対話を重視した体制を確立

ムーディーズ・ジャパン株式会社

A1
(シングルA1)

【アウトック：安定的】

※ 日本国債と同水準

BCA（自治体固有の信用力）：a2

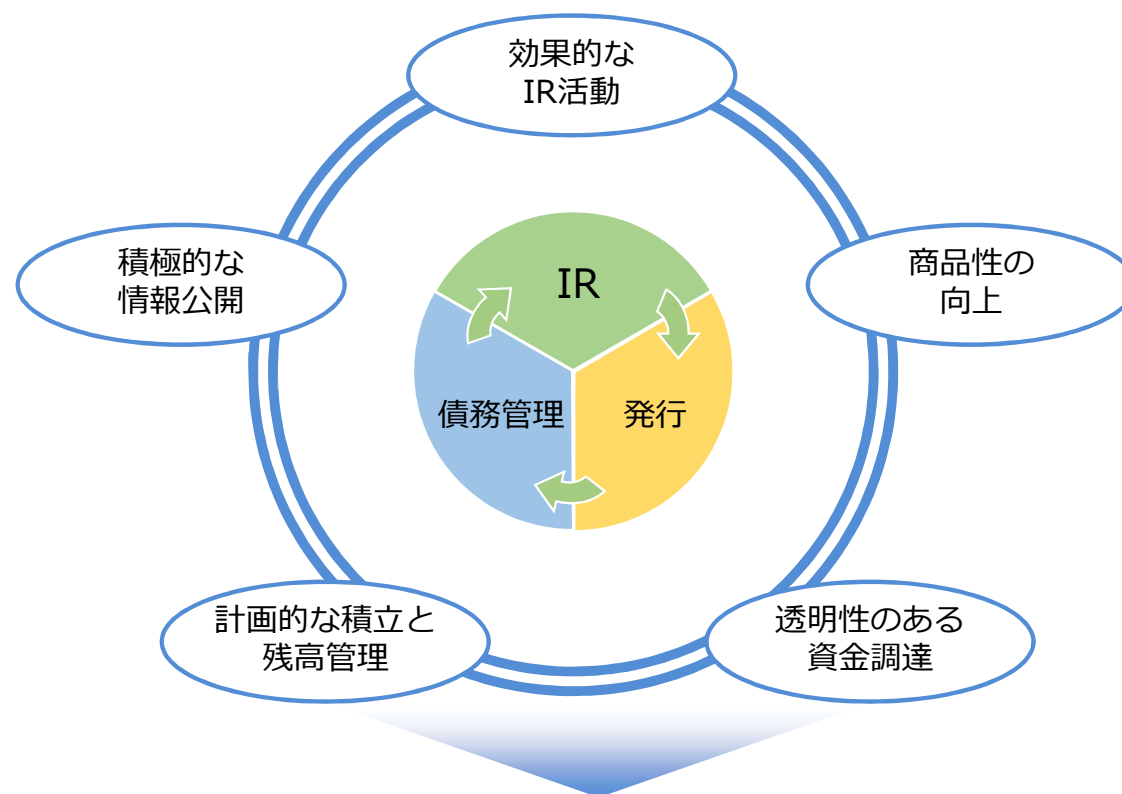
格付	BCA	政令市	都道府県
A1	a2	札幌市	静岡市 浜松市 静岡県 広島県
		堺市 福岡市	福岡県
	a3	横浜市 名古屋市 京都市 新潟県	
		大阪市	

※H30年12末時点

格付けを支える要因

- 歳出及び債務の抑制に向けた継続的な改革の取組
- 中央政府による地方財政への監視および財政調整制度など強固な制度的枠組み

機動性・柔軟性・一貫性のある起債運営を目指して



市場と丁寧に対話しつつ、安定的に資金調達

【参考】札幌案内①

SAPPORO

イベントカレンダー

春			夏			秋			冬		
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
さっぽろライラックまつり			さっぽろ大通ビアガーデン			さっぽろオータムフェスト			さっぽろホワイトイルミネーション		
YOSAKOIソーラン祭り			PMF			ミュンヘン・クリスマス市			さっぽろ雪まつり		

【参考】札幌案内②

SAPPORO

観光スポット



市債活用施設



札幌市債に関するお問い合わせ

SAPPORO

札幌市財政局財政部企画調査課

TEL : 011-211-2216
FAX : 011-218-5147

E-mail: kousai@city.sapporo.jp
URL : <http://www.city.sapporo.jp/zaisei/shisai/>

札幌市役所トップページ



市政情報



財政・市債・IR・出納



当資料は、札幌市債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、札幌市の財政状況等について説明することを目的とするものであり、特定の債券の売り出しまたは募集を意図するものではありません

~MEMO~

SAPP_URO

~MEMO~

SAPP_URO